Summer Report 2017

夏季期間における海難の傾向分析

平成29年6月交通部安全対策課



本レポートは、夏季期間における海難防止に資することを目的として、平成24年から平成28年までの5年間に発生した事故状況から、夏季に発生する海難の傾向分析を行い、船舶・人身事故の両面から事故の特徴や注意点を整理したもので、本結果を基に海難防止啓発活動を推進すると共に、船舶操船者やマリンレジャー活動者の安全意識の向上を目指すものです。

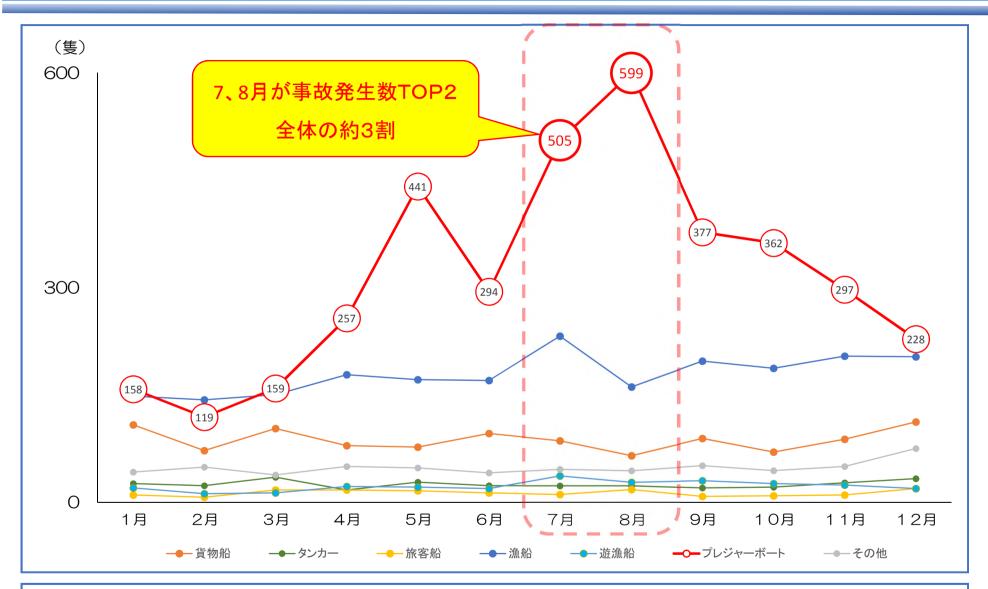
レポートの目次

| ◆ レポートの概要 ・・・・・・・・・・・・・・ 2 | ◆ 人身事故 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16~34 |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ◆ 船舶事故 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3~15 | 1 マリンレジャーに伴う海浜事故の発生状況・・・・・・・・ 17 |
| 1 船舶事故発生状況 ・・・・・・・・・・・・・ 4 | 2 7-8月の遊泳中事故発生状況 ・・・・・・・・・・ 18 |
| 2 プレジャーボートの日別事故発生状況 ・・・・・・・ 5 | 3 7-8月の遊泳中事故の年代別発生状況・・・・・・・・・19 |
| 3 7-8月のプレジャーボートの事故発生曜日別発生状況 ・・・6 | 4 7-8月の離岸流を原因とした事故発生状況 ・・・・・・・20 |
| 4 プレジャーボートの事故種類別発生状況・・・・・・・・7 | 5 7-8月のシュノーケリング中事故発生状況・・・・・・・・21 |
| 5 プレジャーボートの用途別事故発生状況・・・・・・・8 | 6 7-8月の場所別遊泳事故発生状況・・・・・・・・・・22 |
| 6 7-8月のプレジャーボートの操船者年代別の割合・・・・・9 | 7-17 遊泳事故発生位置・・・・・・・・・・・・23-33 |
| 7 7-8月のプレジャーボートの機関故障等発生状況 ・・・・10 | 18 まとめ(人身事故)・・・・・・・・・・・・・34 |
| 8 7-8月プレジャーボートの衝突事故発生状況 ・・・・・・11 | ◇ 参考 海の安全情報の紹介 ・・・・・・・・・・・35 |
| 9 7-8月のプレジャーボートの乗揚事故発生状況 ・・・・・12 | ◇ミニボート利用者へのアンケートのお願い! ・・・・・・・36 |
| 10 7-8月の水上オートバイの衝突事故発生状況 ・・・・・13 | |
| 11 花火大会に関連するプレジャーボートの事故発生状況・・・14 | |
| 12 まとめ(船舶事故) ・・・・・・・・・・・15 | |
| | |

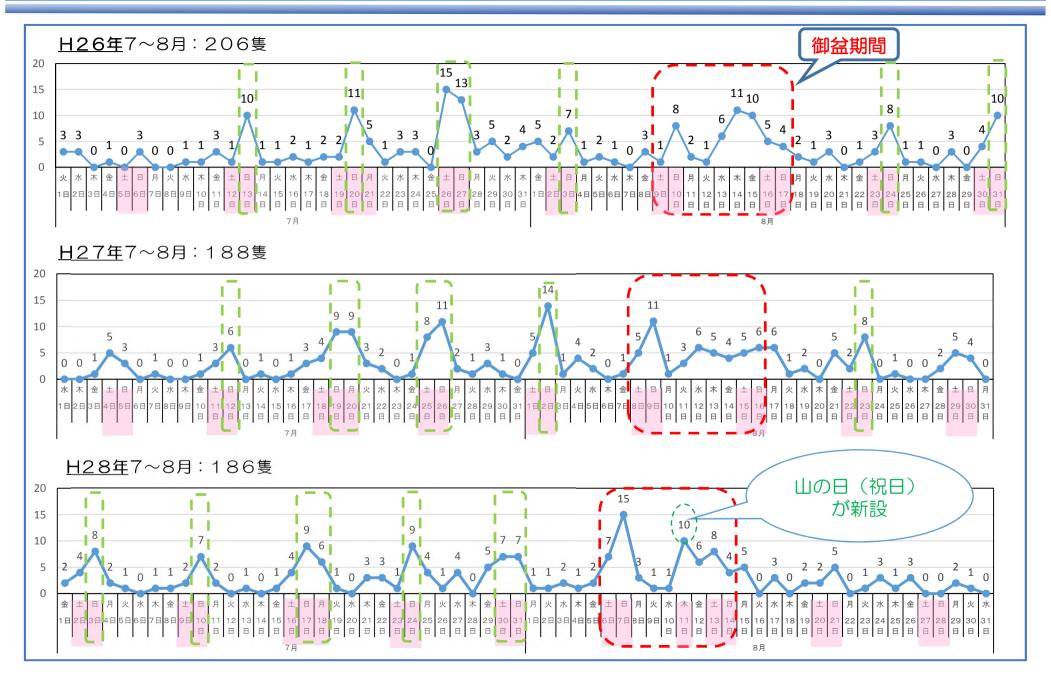
※クリックすると、各ページが表示されます。

船舶事故

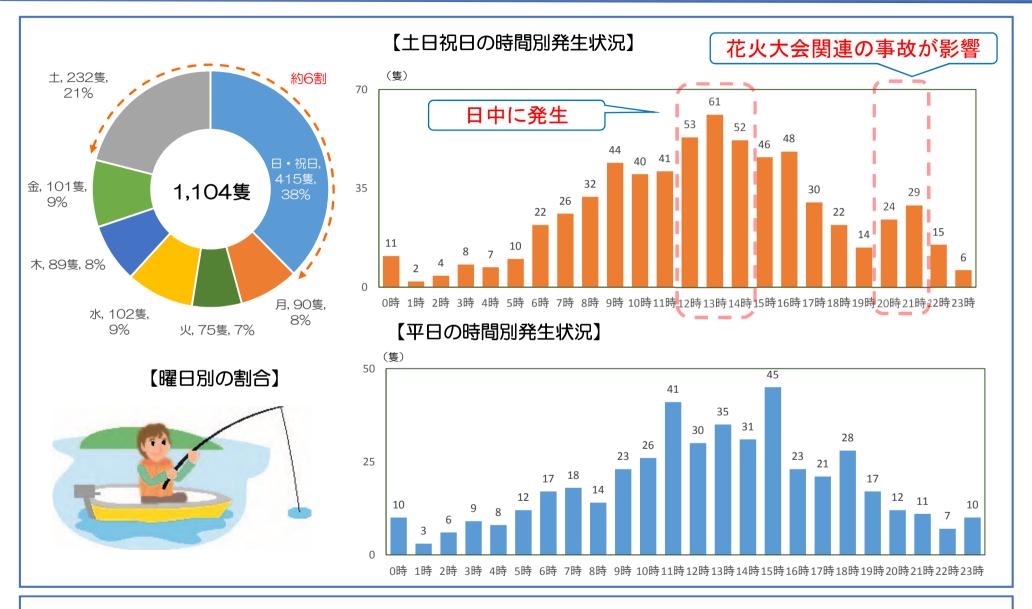




- ▶ 夏季はプレジャーボートの事故が最も多い
- プレジャーボートの事故は夏季に大幅に増加し、年間総数の約3割を占める

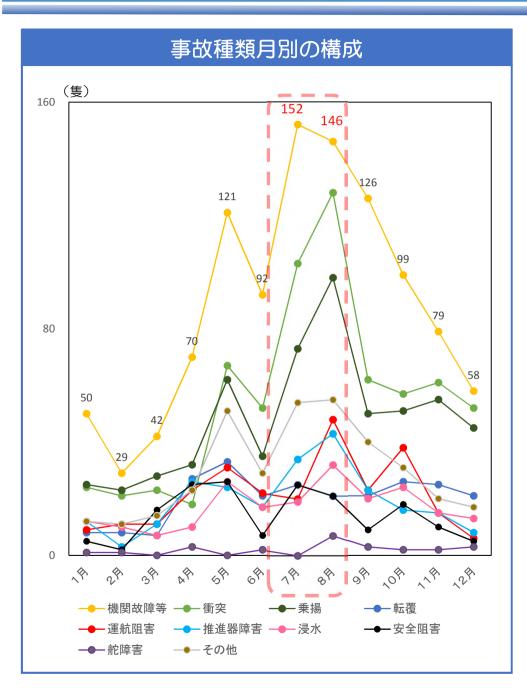


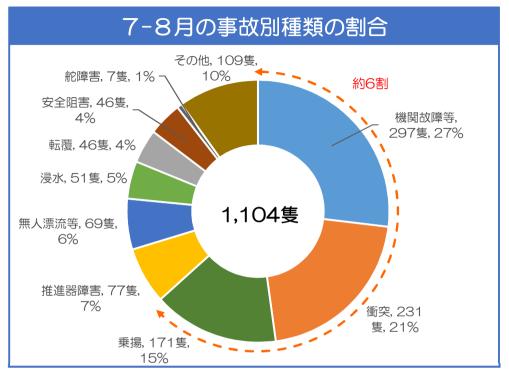




▶ 7月、8月の事故は、土日祝日で約6割発生し、特に日中に集中している







7-8月の事故発生件数ランキング

1位 機関故障等

2位 衝突

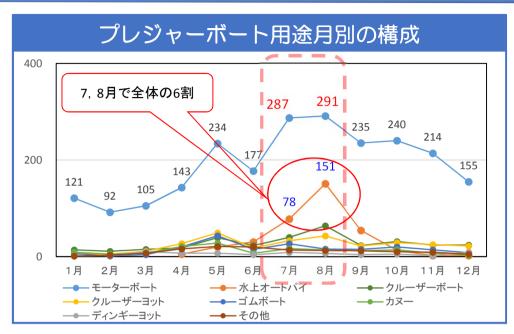
3位 乗揚

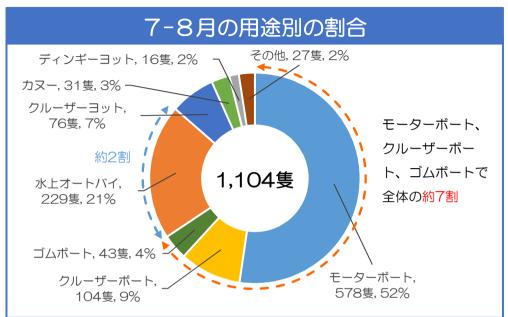
全体の約6割

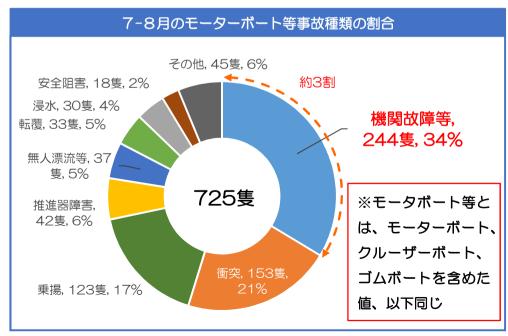
を占める

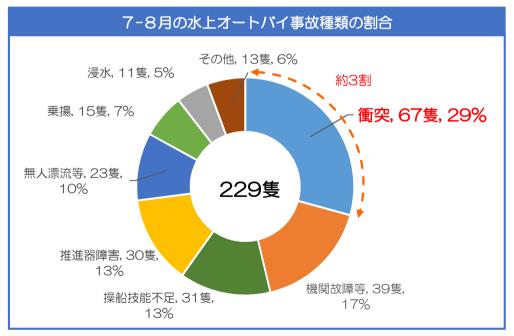
※機関故障等とは、機関故障、過放電、燃料欠乏。以下同じ ※安全阻害とは、荒天難航、船体傾斜、走錨。以下同じ



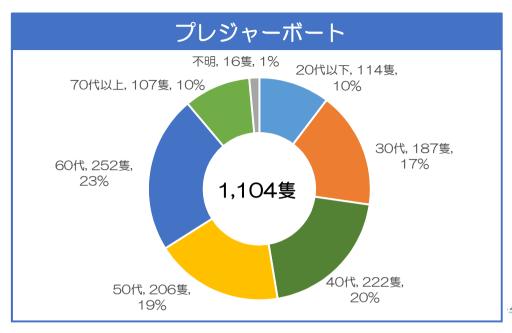


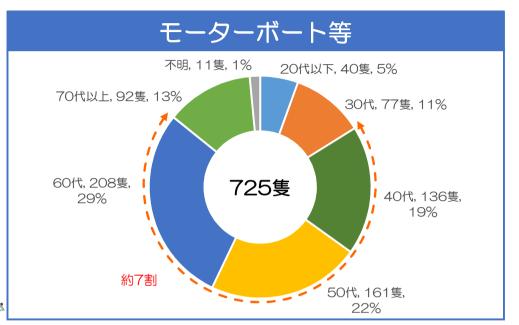


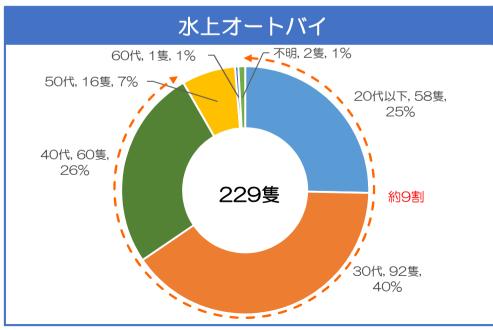












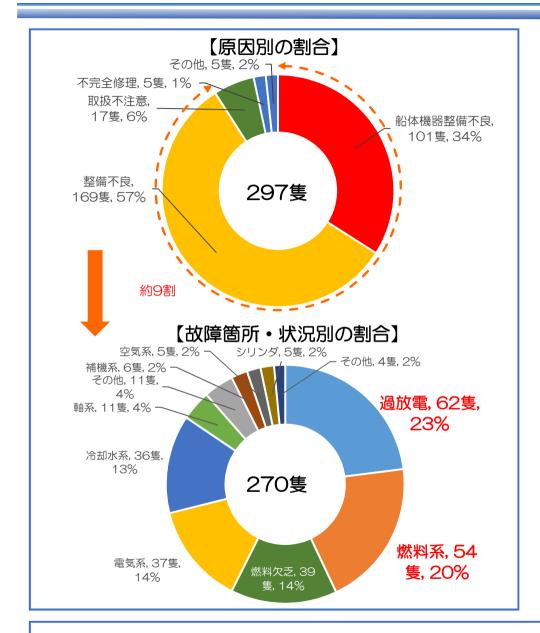
モーターボート等の事故発生件数ランキング

水上オートバイの事故発生件数ランキング



7. 7-8月のプレジャーボートの機関故障等発生状況(H24-H28累計)





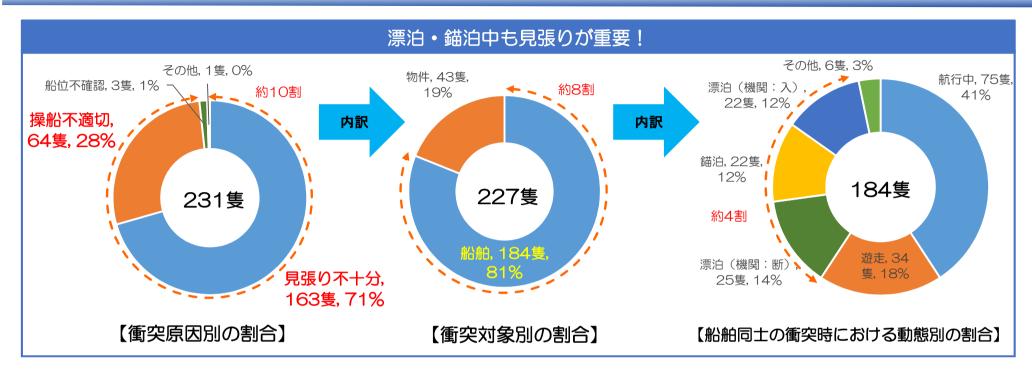
| | 主な事例 | | |
|----|------|---|--|
| | 過放電 | バッテリーの残容量を確認せず出港し、沖合いで魚群探知機や レーダーを使用し続けバッテリーが上がったもの。 | |
| 機 | 燃料系 | 燃料フィルターの汚れを確認せず出港し、フィルターが詰まったもの。 | |
| 関故 | 電気系 | 点火プラグやセルモーターの不具合を放置し、沖合いで機関が 始動できなくなったもの。 | |
| 障等 | 燃料欠乏 | 燃料残量を確認せず出港し、燃料切れとなったもの。 | |
| þ | 冷却水系 | 海水ポンプインペラを長時間交換せず使用し、インペラが破損、 機関停止となったもの。 | |
| | 軸系 | クラッチオイルの量を確認せず、機関を始動し、焼き付いたも の。 | |



▶ 機関故障の多くは発航前の検査や日常点検などの定期的な整備により防止することが可能

8. 7-8月プレジャーボートの衝突事故発生状況(H24-H28累計)





| 見張り不十分及び操船不適切の主な事例 | | | | |
|--------------------|-----|---|--|--|
| 衝突 | 航行中 | 目的地向け航行中、見張り不十分により、衝突したもの。 | | |
| | 遊走 | 遊走中、操船を誤り衝突したもの。 | | |
| | 錨泊 | 錨泊後、遊漁や作業に没頭し、見張りを怠り、接近 してくる船舶に気付かず衝突したもの。 | | |
| | 漂泊 | 漂泊中、遊魚等作業に没頭し、見張りを怠ったため 衝突したもの。 | | |

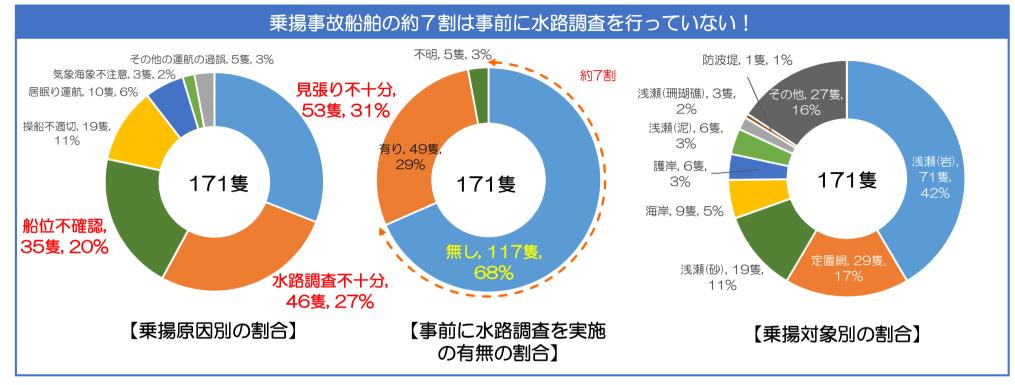
漂泊・錨泊中も 見張りをしてね!



▶ 衝突を防止するためには、安全な速力での航行と適切な見張りが大切

9. 7-8月のプレジャーボートの乗揚事故発生状況(H24-H28累計)





水路調査不十分及び船位不確認の主な事例

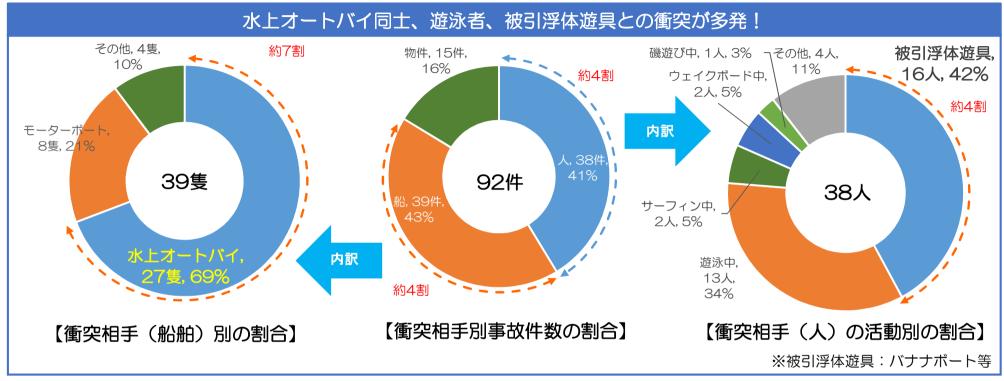
| _ | 水路調査 不十分 | 携帯電話の地図機能等、水路情報が表示されない 地図を用いて航行中、浅瀬に乗揚げた。 |
|---|-------------|--|
| 揚 | 船位不確認 | 目視による見張りのみを行い、レーダー、海図等 で自船の位置を確認しなかったことにより、目標 物を見誤り、浅瀬に乗揚げた。 |

事前に海図等で浅瀬や 定置網など危険な場所 を把握しよう!



▶ 最新の海図を用意して、事前に十分な水路調査を行いましょう。



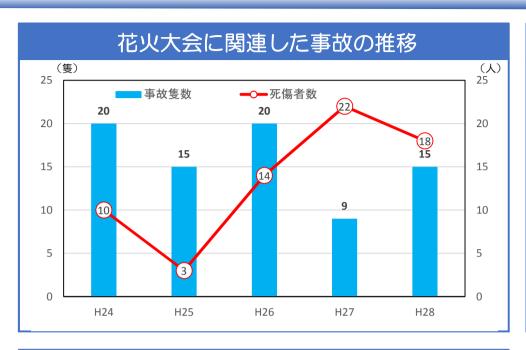


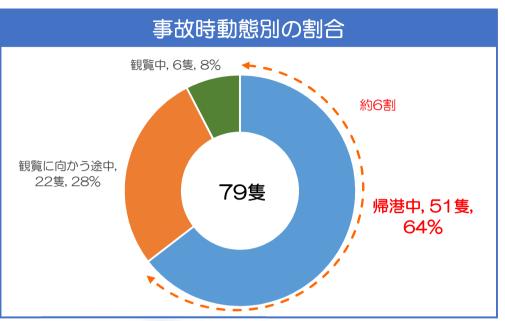


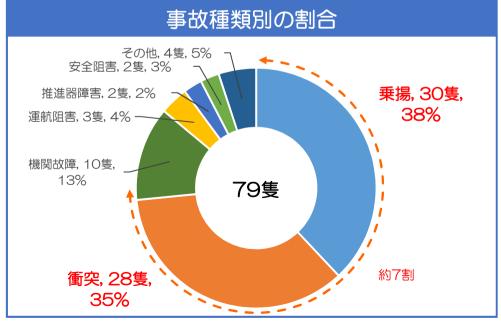


11. 花火大会に関連するプレジャーボートの事故発生状況(H24-H28累計) 🚜 海上保安庁













夏季期間の船舶事故の傾向分析

- プレジャーボート事故は、7月、8月で年間総数の約3割を占める
- > 7月、8月の事故は、土日祝日で約6割発生
- プレジャーボートの用途別割合は、モーターボート、水上オートバイが約7割を占める
- ▶ 機関故障等の事故は、発航前の検査、業者整備で防げる可能性のある事故が多い
- ▶ 衝突事故は、見張り不十分、操船不適切が多い
- ▶ 乗揚事故は、事前の水路調査の未実施が多い
- ▶ 水上オートバイの対人衝突事故は、被引浮体遊具(バナナボート等)との衝突が約4割
- ▶ 花火大会に関する事故は、帰港中の乗揚、衝突が多い

花火大会の帰りは

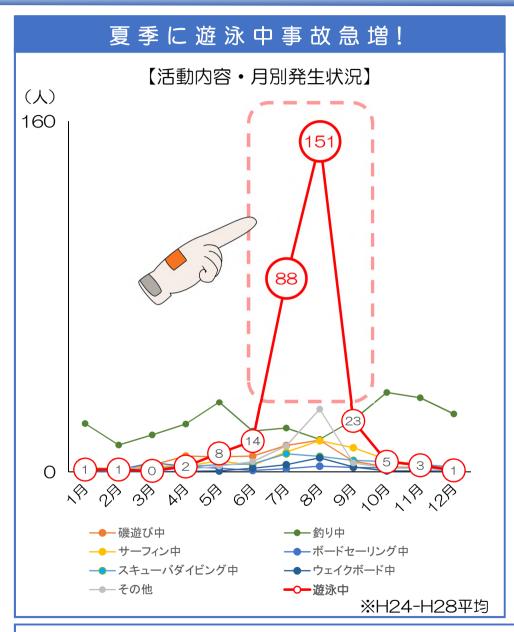
- 夜間の航行
- 船舶が混雑している

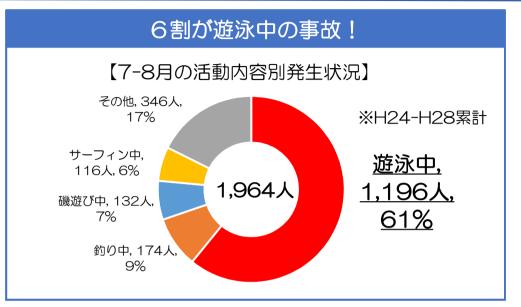
など危険な要素が多い

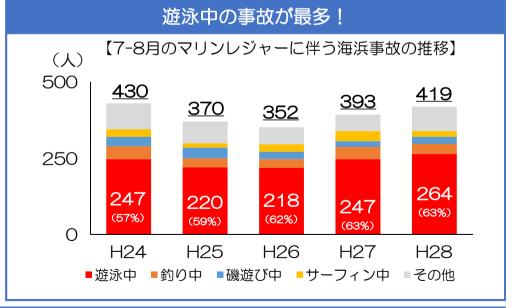


人身事故





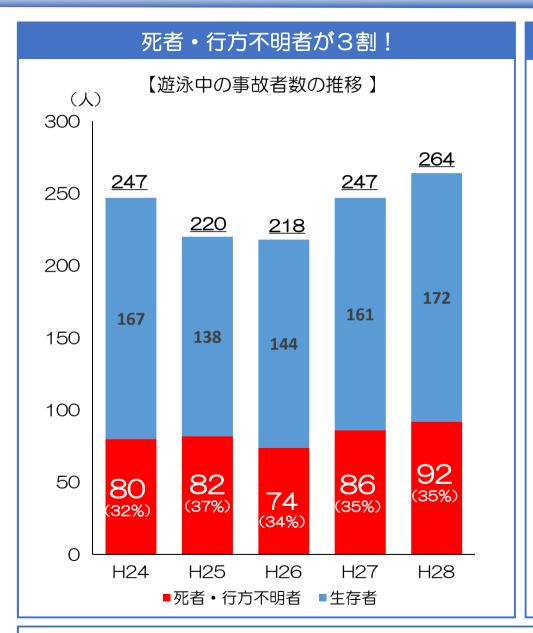


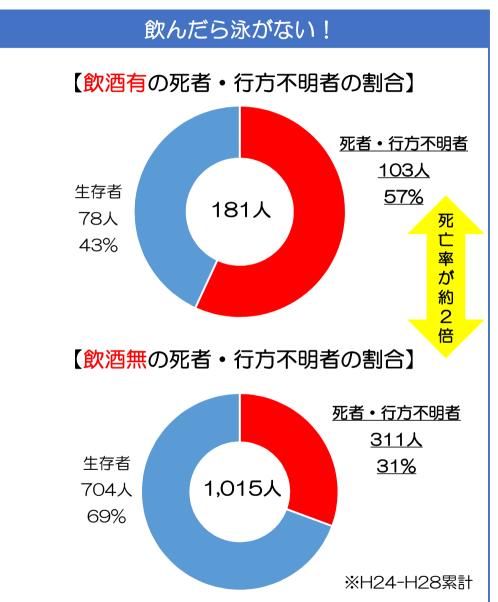


▶ 夏季は遊泳中の事故が急増

2. 7-8月の遊泳中事故発生状況



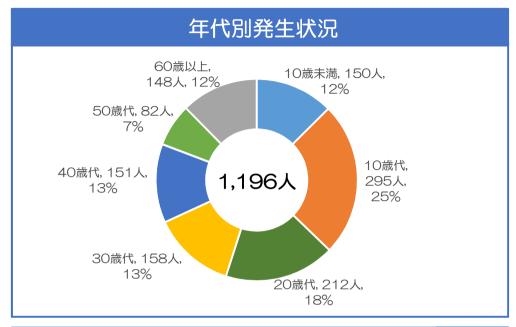


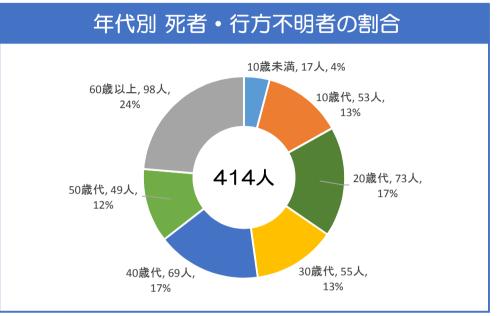


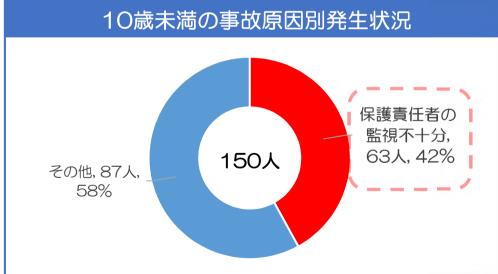
飲酒後は泳がないようにしましょう!

3. 7-8月の遊泳中事故の年代別発生状況(H24-H28累計)





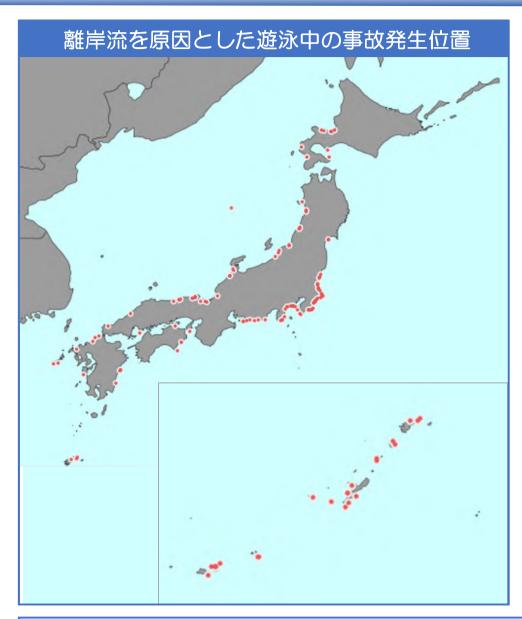


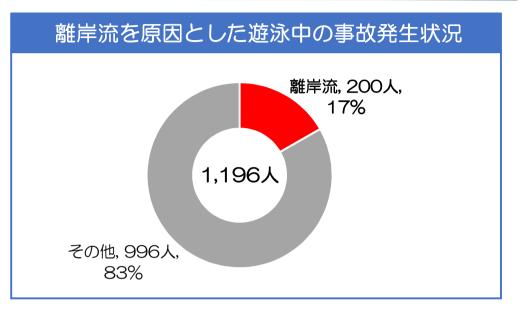




▶ 海で遊ぶ際、保護者は子供から目を離さないようにしましょう!





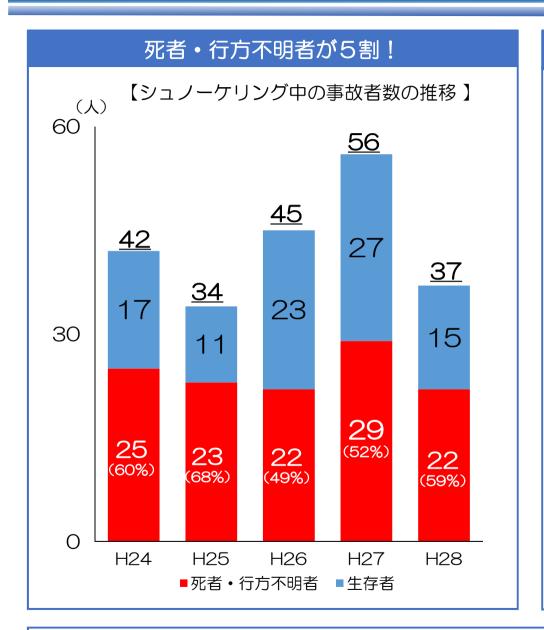


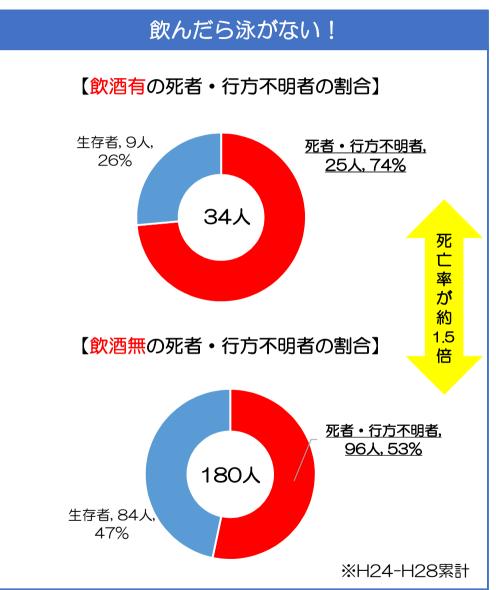


離岸流: 沖へ流れる、海水の強い流れ

▶ 離岸流に流されたら、海岸と平行に移動し回避しよう!

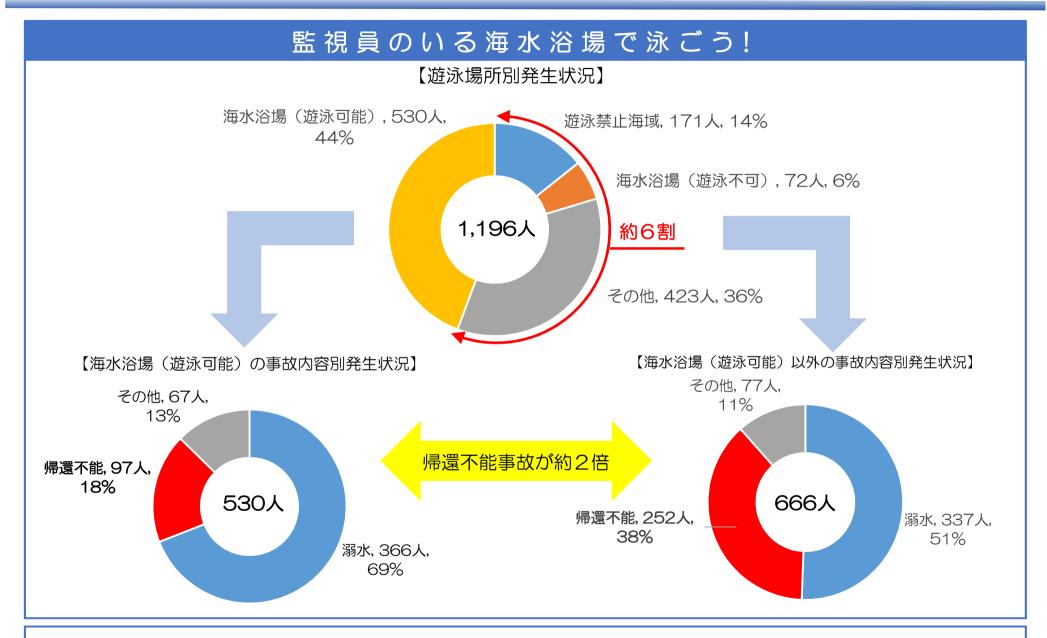






▶ 通常の遊泳中の事故より、死亡率が高い!

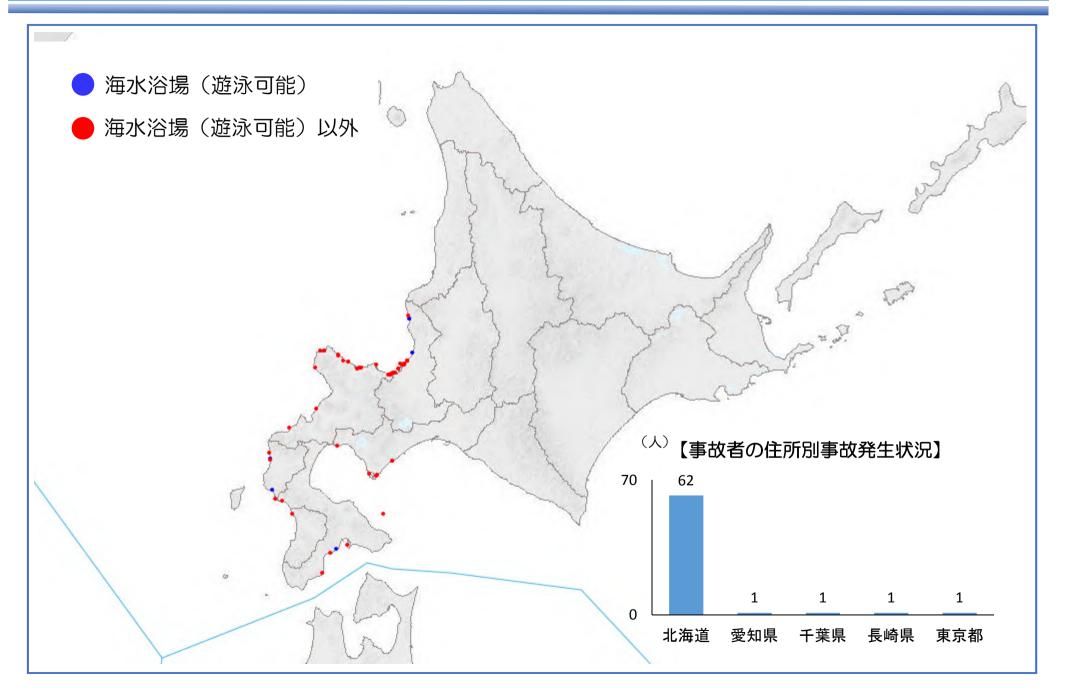




▶ 遊泳は、監視員が常駐する海水浴場で泳ぎましょう!

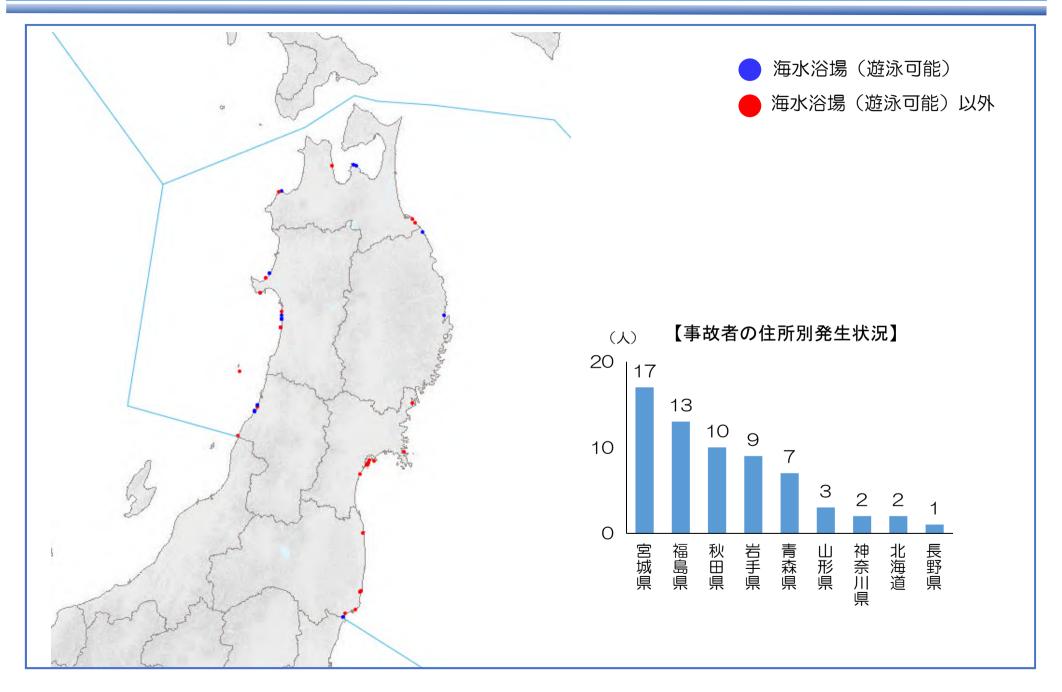
7. 第一管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





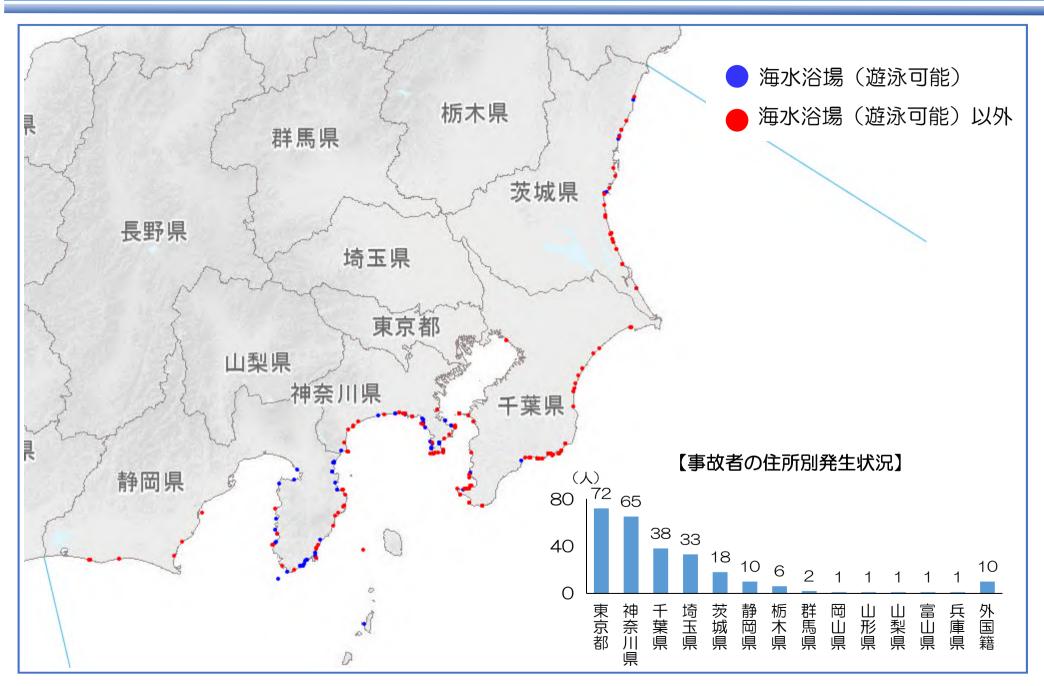
8. 第二管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





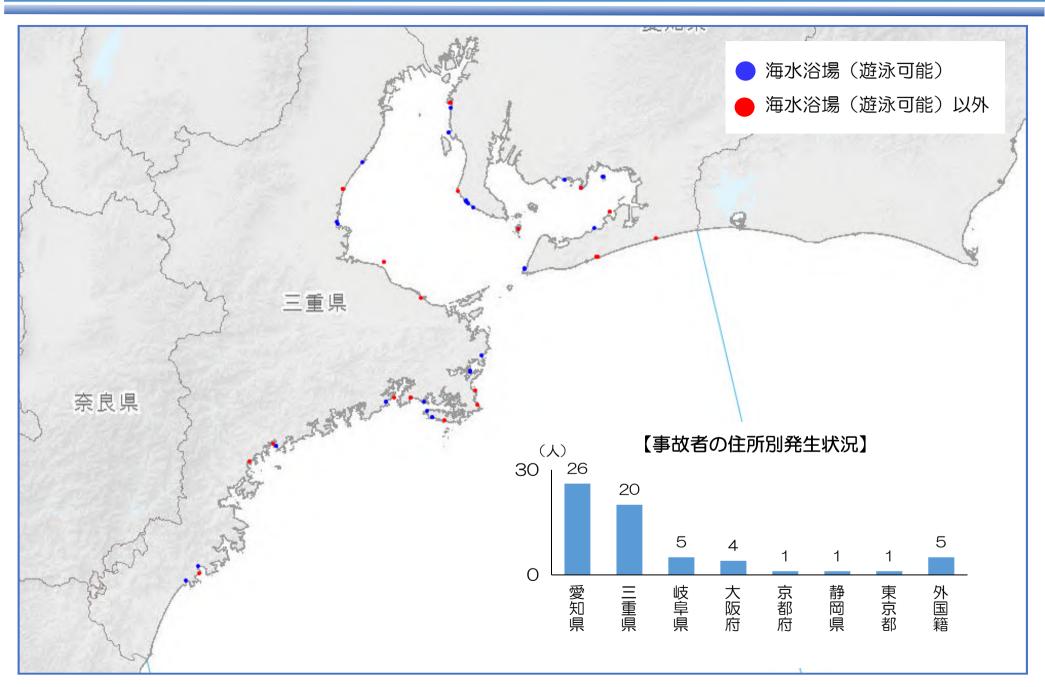
9. 第三管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





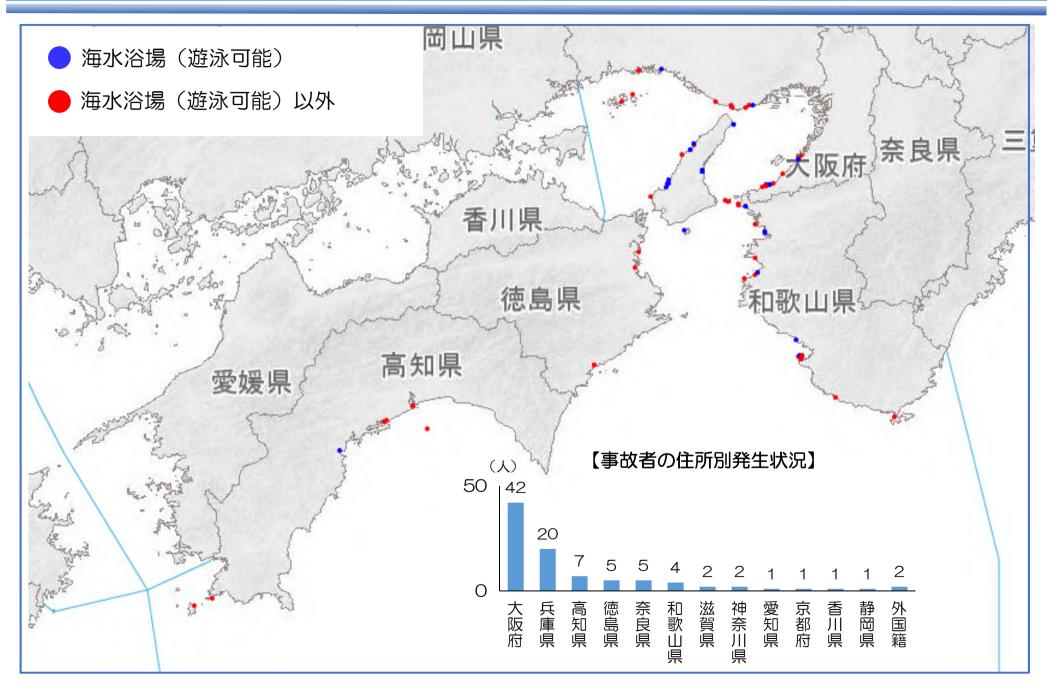
10. 第四管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





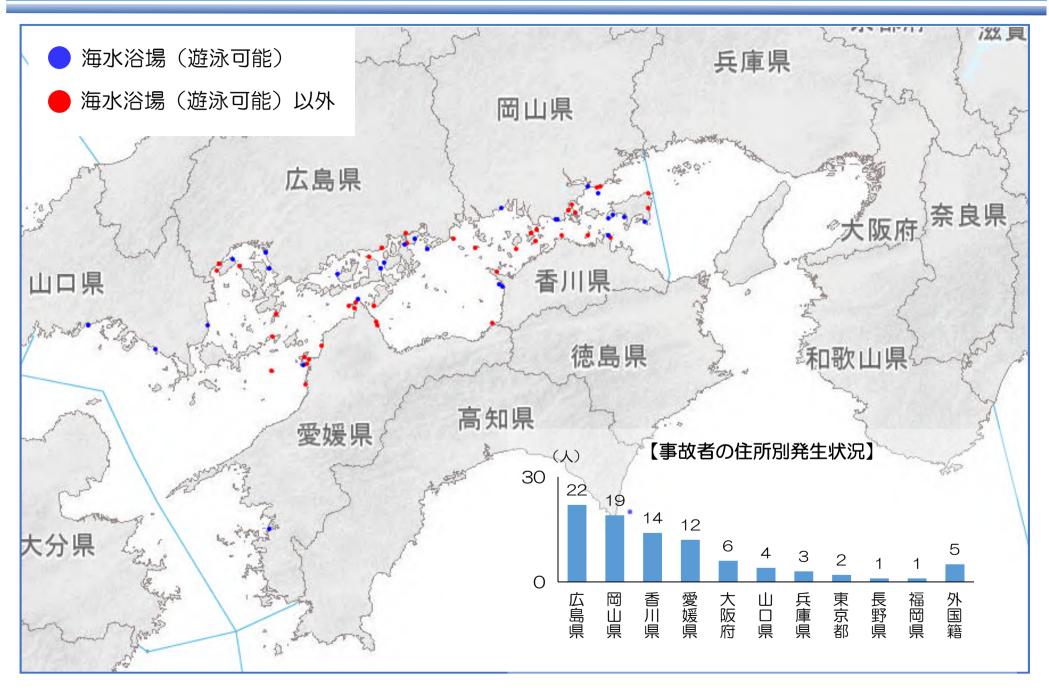
11. 第五管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





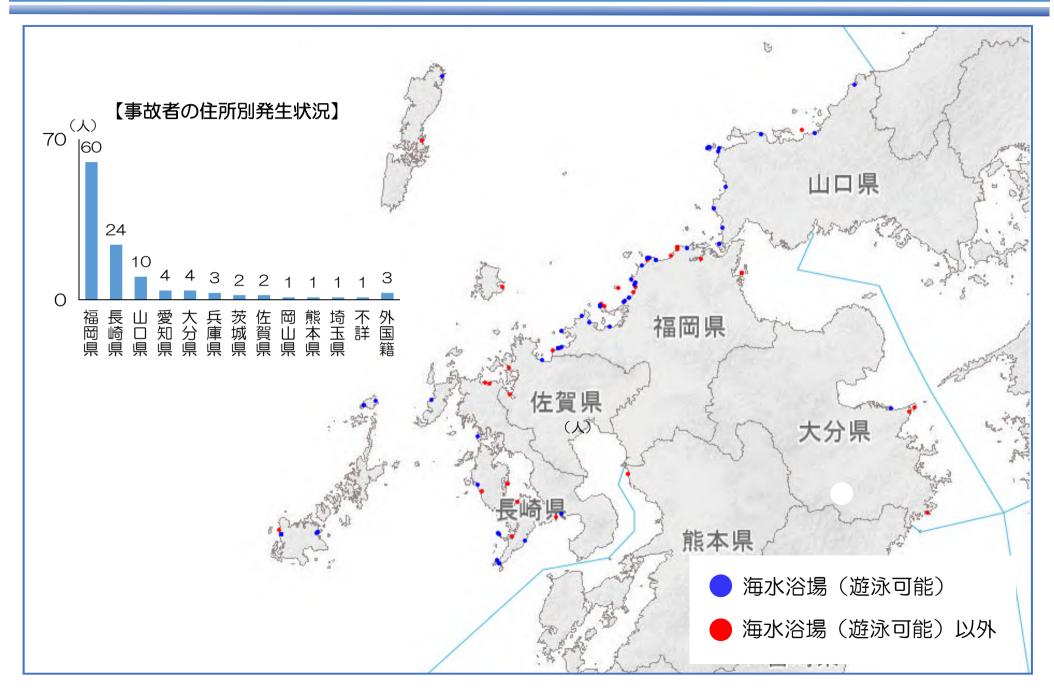
12. 第六管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





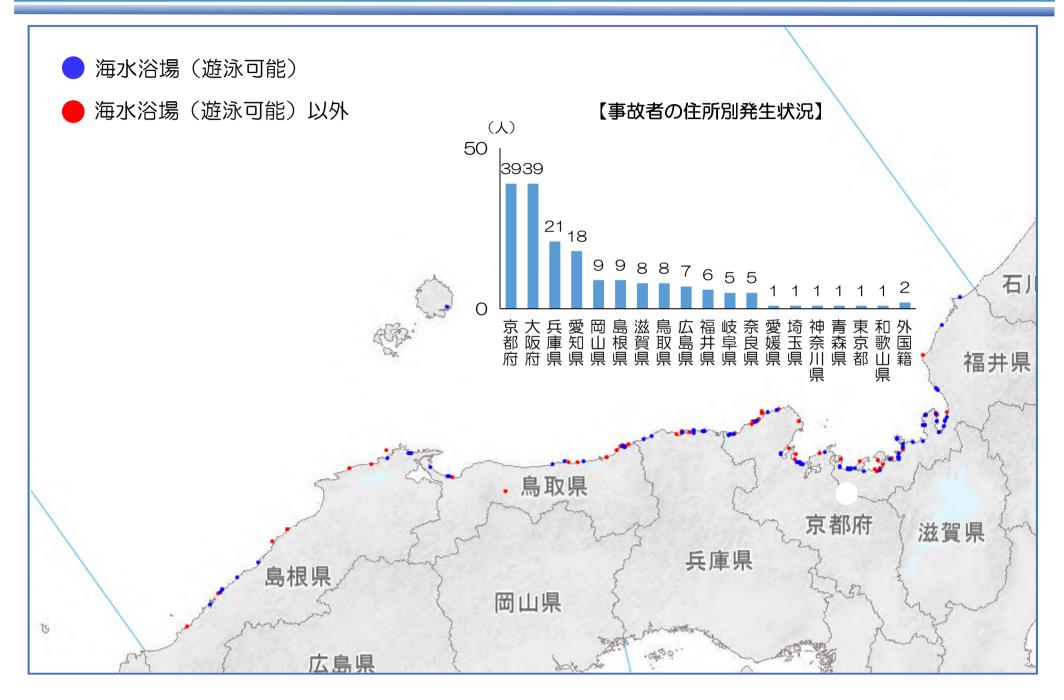
13. 第七管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





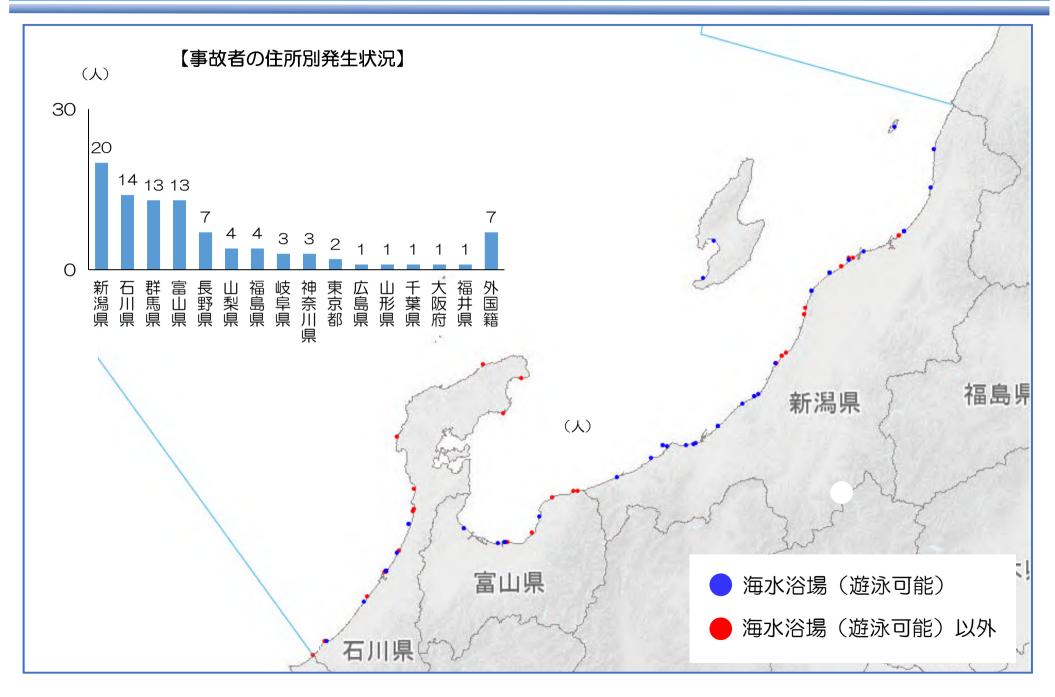
14. 第八管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)





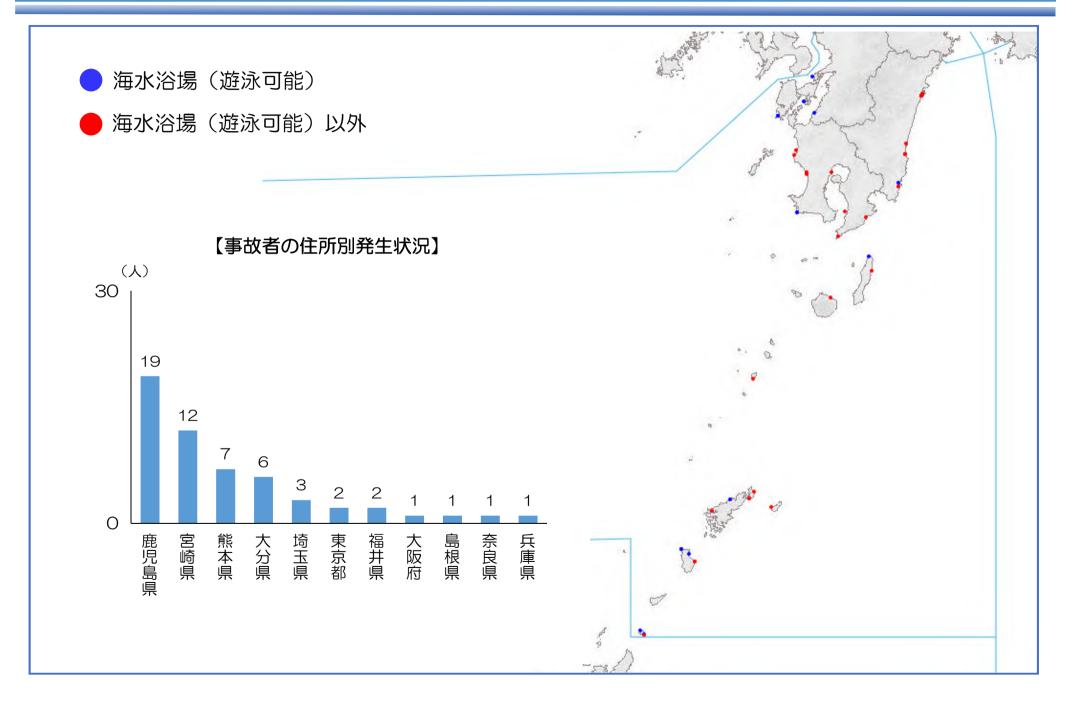
15. 第九管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計)



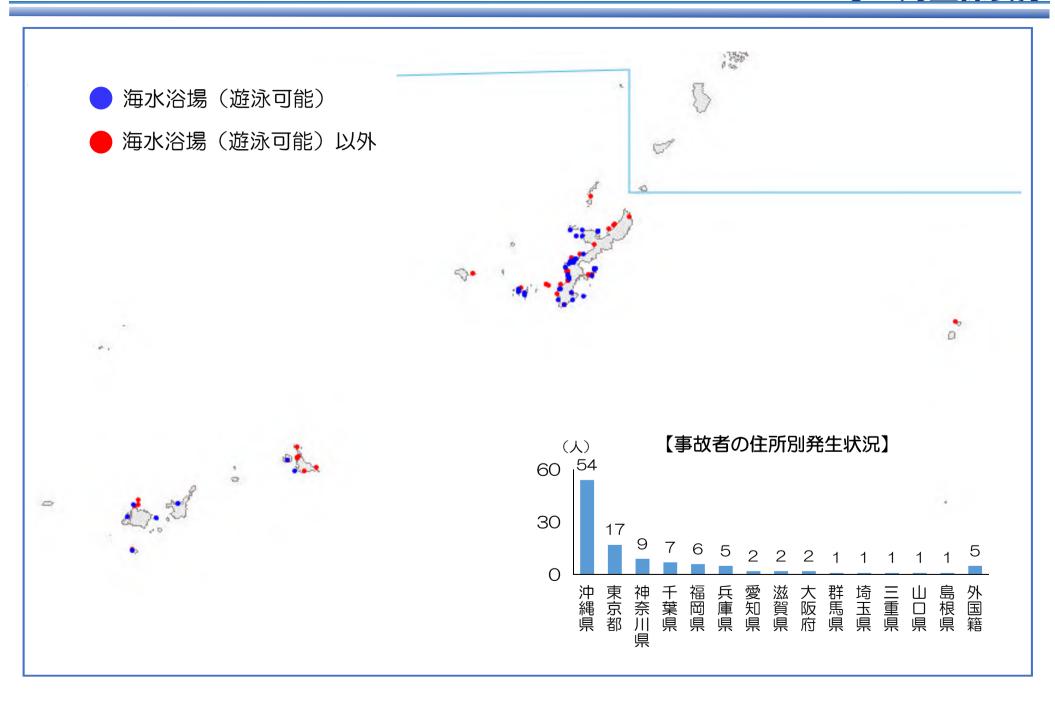


16. 第十管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置(H24-H28累計) 🚜 海上保安庁





17. 第十一管区海上保安本部内の遊泳事故発生位置 (H24-H28累計) 🚜 海上保安庁





夏季期間の人身事故の傾向分析

- > 7~8月に、遊泳中の事故が急増
- 遊泳中の事故者のうち死者・行方不明者は約3割



- 10歳未満の事故者のうち保護責任者の監視不十分がとされるものは約4割
- ▶ 遊泳中の事故では、遊泳禁止海域等での事故が約6割
- ▶ 離岸流を原因とする遊泳中の事故は約2割

離岸流に遭遇したら!

- 1. 決して流れに逆らって泳がない!
- 2. 岸と平行に泳ぐ! (離岸流の幅は10~30m)
- 3. (離岸流から抜け出せたら) 岸に向かって泳ぐ!
- ショノーケリング中の事故のうち死者・行方不明者は約5割



シュノーケルクリアを しっかり習得しよう!



【シュノーケルクリア】 シュノーケルに水が入った場合に、 短く、強く息を吹き出すことで、水を 排除する技術。





- プレジャーボートや漁船などの船舶運航者、マリンレジャー愛好者の方々に対して、事故 防止に関する様々な情報を提供しています。
- ▶ 北海道から沖縄まで地域にあわせた海の安全情報を提供しています。























海の安全情報はこちらから http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/



(スマートフォンサイト)

ミニボート等に乗船する際の注意点について! ~アンケートのお願い~



(公社) 日本海難防止協会においてミニボートの利用者に対するアンケートを実施しております。 協会ホームページからアクセスいただきご回答をお願いいたします(http://www.nikkaibo.or.jp) ※スマートフォン以外の携帯電話からは表示出来ない場合があります。



1237

ボート上で急に立ち上がらない!片側に寄らない!

ボート上で急に立ち上がると、ボートが転覆したり、バランスを崩して海中転落することがあります。ボート 上で移動する際は、慌てることなく十分に注意して動作をとって下さい。

必要以上に沖合いに出ない!

ボートは、気象海象に左右されやすく、荒天で風が強くなったり、波が高くなると、自力で帰港できなくなる ことがあります。必要以上に沖合いに出ないようにしましょう。

波の方向に十分注意する!

ボートが横波を受けると船体は左右に揺れ、転覆の危険性が生まれます。横波を受ける状態で長く走ることは 絶対に避けましょう。

見張りを確実に行い、ボートに旗を立てる!

昼間でも、波の間に浮かぶボートは、他の船から想像以上に見えにくいものです。他の船がこちらを見ている と思うことなく、乗船中は見張りを確実に行うとともに、旗やレーダーリフレクターの装着を励行し、事故を 防ぎましょう。

救命胴衣を確実に着用し、連絡手段を確保する!

ボートに乗船する際に救命胴衣を常時着用するのは基本中の基本です。ボートから落水した場合も、救命胴衣 を着用していれば助かる確率が高くなります。また、携帯電話は防水パックに入れ、万が一落水した際の海上 保安庁(118番)等への連絡手段の確保に努めましょう。

夜間は船を出さない!

夜間航行する場合は、全周灯等の法定設備を点灯しなければなりませんが、たとえ点灯していてもミニボート は他船から見えにくいため、夜間は航行しないようにしましょう。

こまめに天気情報をチェックする!

海の安全情報(沿岸域情報提供システム)等で気象・海象情報を確認しましょう。



